

事務事業名		信州中野環境祭事業		目標設定日	平成29年3月1日
				部・局	くらしと文化部
総合計画体系	基本政策	5	安心・安全な住みよいまちづくり	課・室	環境課
	政策	04	衛生環境の向上と資源循環型社会の構築	係	環境係
	施策	—	—	内線電話	247
予算体系	会計	一般会計		実施計画	
	款	4款	衛生費	未計上	
	項	1項	保健衛生費	実施期間	
	目	6目	環境衛生費	平成20年度 ~	

目指す姿	対象（誰のために）	市民	意図（どのような状態にしたいのか）	信州中野環境祭を開催し、環境問題への意識を市民に広める。
現状・課題	当初は平成19年に実施したごみ処理の有料化の啓発を目的に開催したが、現在は環境問題全般の啓発を図っている。			
市が行う理由及びその根拠	任意的自治事務	環境問題全般について周知・啓発を図るため。		
事務事業概要	体験・実演・映像を多用して環境教育を行うほか、中野市の自然環境から環境問題全般について周知・啓発を行う。			
平成29年度の活動指標 アウトプット	活動内容		活動量	
	信州中野環境祭開催		1回	

事務事業インプット	項目	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	予算額	当初予算	円	1,327,000	1,325,000
補正予算		円			—
合計		円	1,327,000	1,325,000	1,265,000
決算（見込）額 A		円	1,225,229	1,238,535	—
財源内訳	国庫支出金	円			
	県支出金	円			
	市債	円			
	その他特定財源	円			
H29は予算額	一般財源	円	1,225,229	1,238,535	1,265,000
正規職員数		人	0.34	0.44	0.64
人件費 B		円	2,247,740	2,907,080	4,228,480
総事業費 A+B		円	3,472,969	4,145,615	5,493,480
市民1人当たりコスト		円	79	95	127

成果指標	アウトカム	方向	平成27年度		平成28年度		平成29年度		
来場者の数		増加	目標	1,200	人	1,300	人	1,500	人
			成果	1,300	人	1,800	人	—	
			目標						
			成果					—	
成果指標と目標値の設定理由	来場することにより環境問題について周知・啓発が図られることとなるため、来場者の数を成果指標とし、目標値は、開催規模等を考慮し、現状維持が望ましいため。								

平成29年度の実施方針	例年どおり実施	活動量	維持する	コスト	維持する	成果	維持する
	来場者に環境問題全般について関心を持ってもらうよう工夫を図る。						

